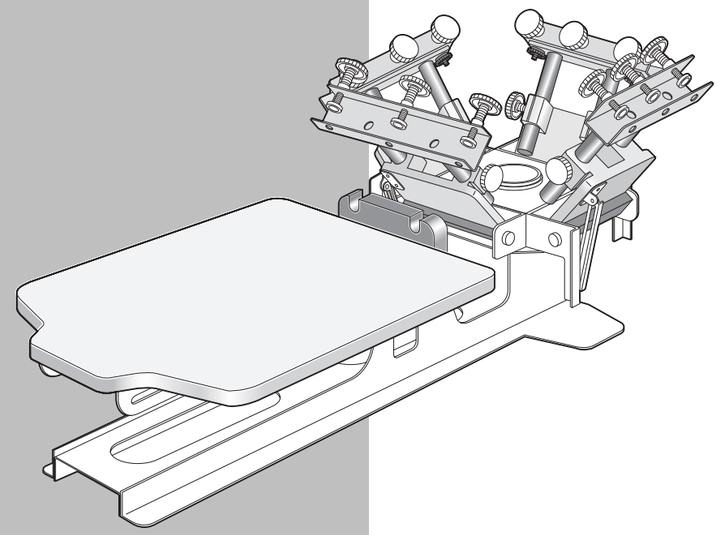
プロスクリーン4色印刷機

取扱説明書



製造・発売元/**太陽精機株式会社ホリゾン事業部**

〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山1-6-4

TEL　0422 (48) 5119(代)　　FAX　0422 (48) 5009

京都事業所

〒601-8204　京都市南区久世東土川町242

TEL　075 (921) 9225　　FAX　075 (921) 9217

オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

140207/ プロスクリーン４色印刷機 /03J/HN/IT/NT

UM107106-03(001)

まえがき

この取扱説明書は「プロスクリーン４色印刷機」の高機能を活用するためのガイドブックです。すでに印刷機で経験をお持ちの方にも、再確認のためにお役にたつものにまとめました。

「プロスクリーン４色印刷機」を正しくお使いいただくために、この取扱い説明書をよくお読みください。万一ご使用中に分からないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお手元でお役にたちます。

研究改良の結果、取扱説明書の中に、お買い上げの製品と細部で異なる場合もあります。製品またはこの取扱説明書の内容についてご質問がおありのときは、
下記までお問い合わせください。

本機に付属する取扱説明書、マニュアル等を無断で複写複製することを禁止します。

● 操作上のご質問・ご相談は下記までご連絡ください。

太陽精機株式会社　ホリゾン事業部
〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山1-6-4
電話　0422（48）5119（代表）
FAX　0422（48）5009

目次

ご使用の前に

まえがき 1
安全にお使いいただくために 3
設置上のご注意 4
使用上のご注意 5
版について 6
梱包品を確認する 7
本機を設置する 8
各部のなまえ 10

印刷をしましょう

版とTシャツをセットする 11
印刷をします 17
（一度に印刷をする方法：Wet on wet） 18
（1色ごとに仮乾燥する方法） 20

お手入れのしかた

版を清掃する 22

こんなときは

Tシャツの上でインクが混じる。 23
印刷がずれる。 23
図柄がかすれる。 23

付録

各インクの特徴と使い方 24
仕様 25
オプション品の使い方 26
オプションとTシャツくんProの関連商品 27

安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。この取扱説明書に示されている手順ならびに安全に関する注意事項をよくお読みになり、充分に理解できるまで操作ならびに保守を行わないでください。

この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、本機を指定する方法で使用する場合にのみ有効です。この取扱説明書に書かれていない方法や目的で使用する場合の安全に対する配慮は、すべてご自分の責任でお考えください。

この取扱説明書では、お守りいただきたい注意事項を「警告」と「注意」に分けて表示してあります。

⚠ 警告	もしお守りいただけないと人身事故につながる恐れのある注意事項は、「警告」という見出しで挙げてあります。
⚠ 注意	もしお守りいただけないと機械の破損や故障につながるおそれのある注意事項は、「注意」という見出しで挙げてあります。

絵表示の意味

△

絵表示は、注意・警告を促す内容があることを示すものです。
例:

感電注意

絵表示は、禁止の行為であることを示すものです。
例:

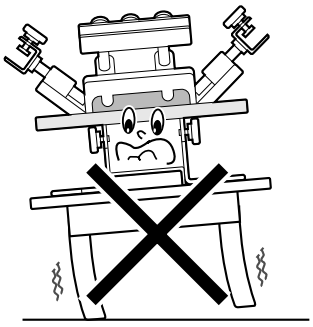
分解禁止

絵表示は、行為を規制したり指示する内容を示すものです。

設置上のご注意

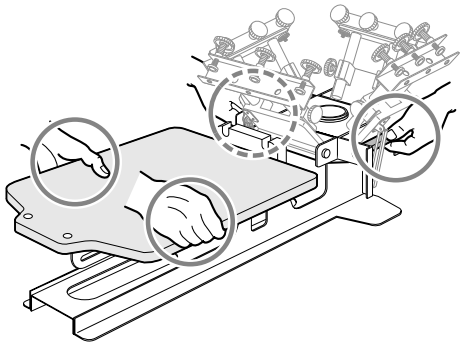
⚠ 警告

本機の総質量は32.5kgです。床や土台が不安定な場所への設置はしないでください。転倒や故障の原因になります。（平らで丈夫な場所へ設置してください。版クランプ部は版を付けて回転させますので、版を付けても回転可能なところに設置してください。）設置スペースは8ページ参照



⚠ 警告

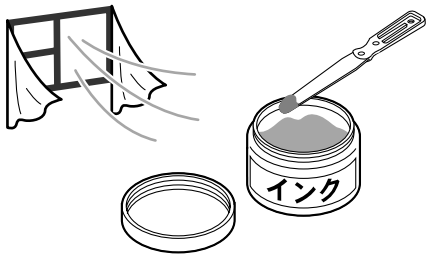
本機を運搬するときは、必ず2人以上で、図に表示される部分を持ってください。



使用上のご注意

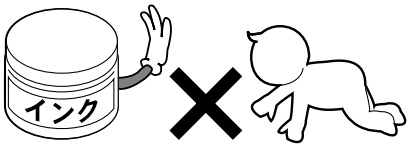
⚠ 警告

スプレーのりやインクには、揮発性溶剤が使用されていることがあります。換気を充分行いながら、使用してください。



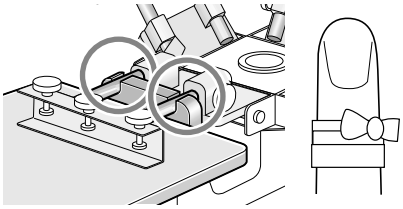
⚠ 警告

インクは幼児の手の届かない所に保管してください。



⚠ 警告

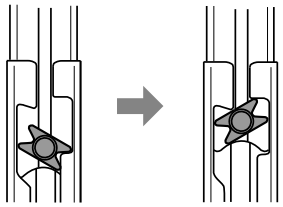
版クランプ部の前後引き出しアームを固定する時、アームとブロックの間に手や指を挟まないように注意してください。



⚠ 注意

版クランプ部を下げるときに硬いときは無理に下げず、12 ページを参照してステーのロータを確認しながら、下げるようにしてください。

ロックされている状態　　下ろせる状態

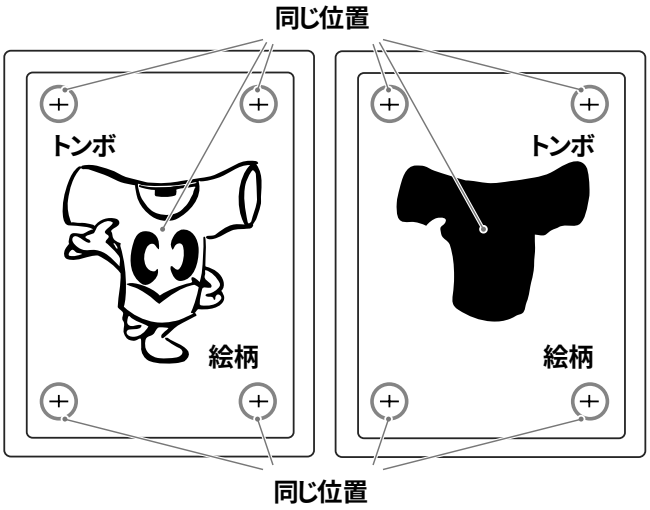


版について

- 明るい色の版は、少し大き目にして、後で印刷する暗い色と重なる（重ね代約1mm）ようにすると、印刷はきれいに仕上がります。
（ただしベタ印刷の上に重ねて印刷する場合を除きます。）

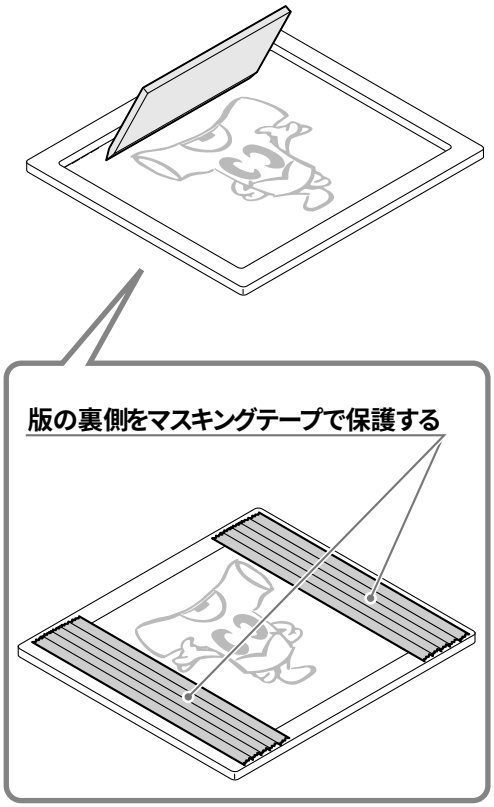
- トンボの位置はすべての版で同じにしてください。

- トンボに対する絵柄の位置はすべての版で同じにしてください。



- 何回も使用すると、スキージのエッジで版を傷め、インクが下ににじむことがあります。あらかじめ、版の裏側からスキージのエッジが通る部分にマスキングテープ等を貼って補強しておくと、にじみはさけられます。

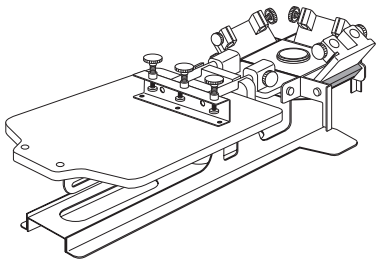
- 版のピンホールを修正するときは、版の裏から、専用の修正液を塗ってください。



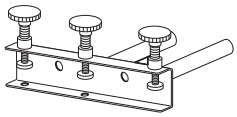
梱包品を確認する

本機をお使いになる前に、以下のものが入っていることを確認してください。

☐ プロスクリーン４色印刷機本体　1 台



☐ 版クランプ部　3個



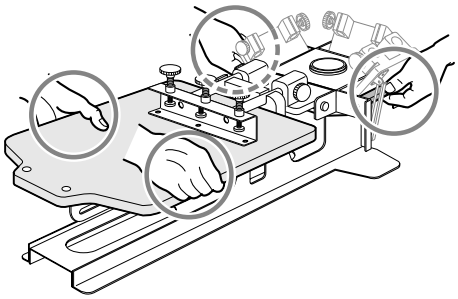
☐ 取扱説明書（本書）　1 冊

☐ 保証書　1 部

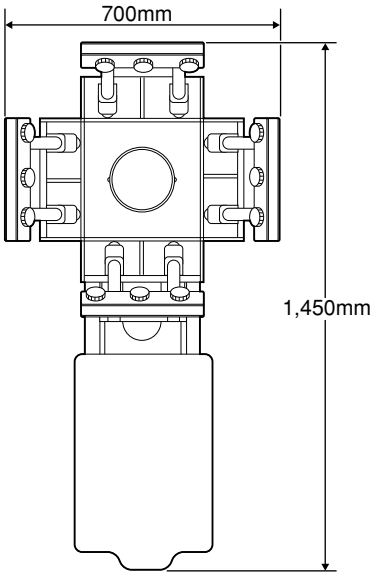
本機を設置する

1 箱を開梱し、付属品箱と本体を箱から取り出します。

本体は、2人以上で指示部を持って箱から出してください。

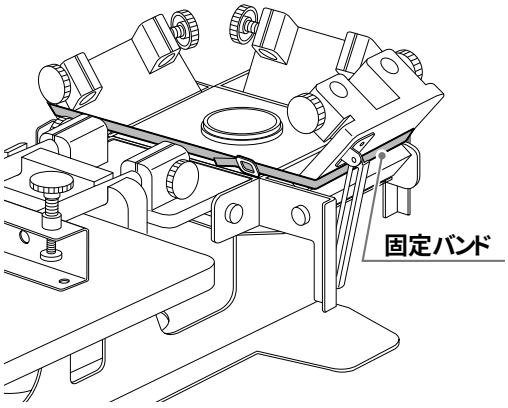


2 本体を設置位置に置きます。



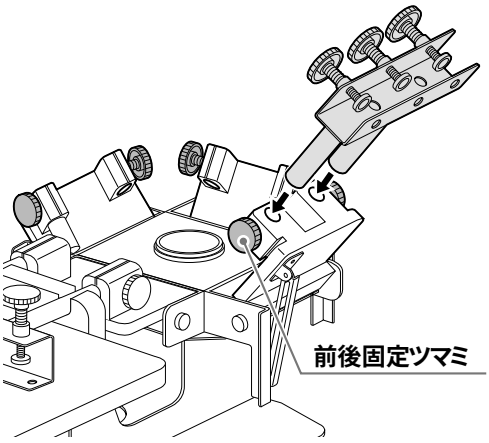
- 本機の寸法を左図に示します。
- お使いの版を取り付けて回転させても、当たらないようスペースを確保してください。

3 固定バンドを切って外します。

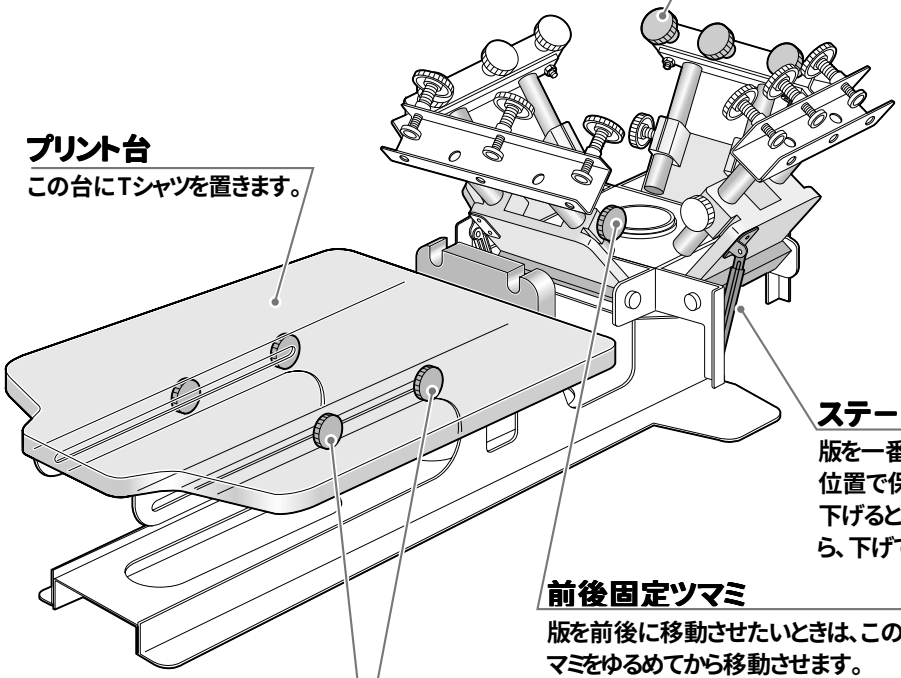


4 版クランプ部を本体に取り付けます。

前後固定ツマミをゆるめてから、取り付けてください。



各部のなまえ



版固定ツマミ
版のフレームをここに挟み、このツマミで固定します。

プリント台
この台にTシャツを置きます。

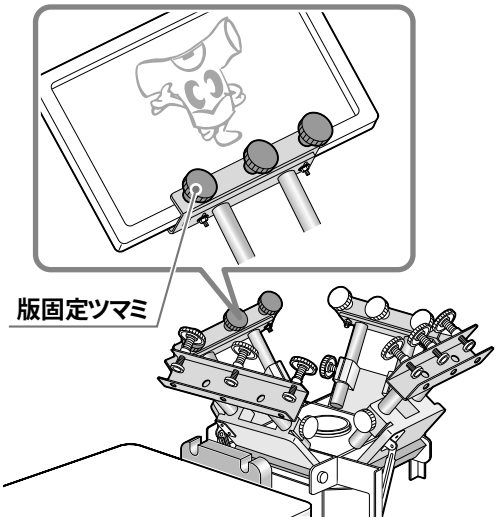
ステー（ロータ）
版を一番上に持ち上げると、その位置で保持されます。
下げるときは、少し持ち上げてから、下げてください。

前後固定ツマミ
版を前後に移動させたいときは、このツマミをゆるめてから移動させます。

プリント台固定ツマミ
プリント台を前後に移動させたいときは、このツマミをゆるめてから移動させます。

版とTシャツをセットする

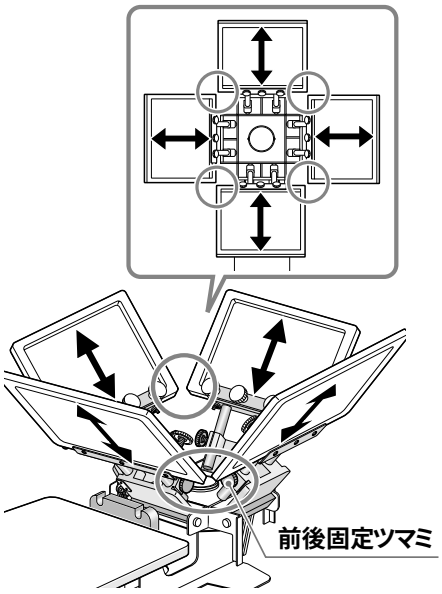
1 版をセットします。

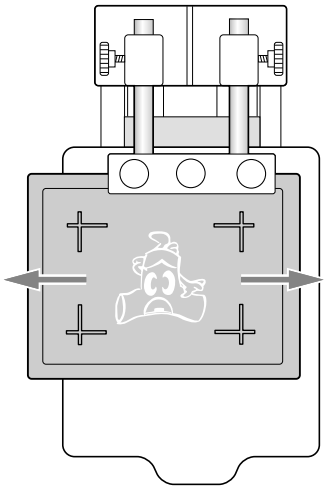


- 版の向きに注意してセットしてください。
- セット後、版固定ツマミで、しっかりと固定してください。締め方がゆるいと、印刷のときにずれることがありますので、ご注意ください。

重要

**版を上下に振ったときに、互いに当たらないように取り付けます。
どうしても当たるときは、前後固定ツマミをゆるめ、手前に版（版クランプ部）を引き出してください。**

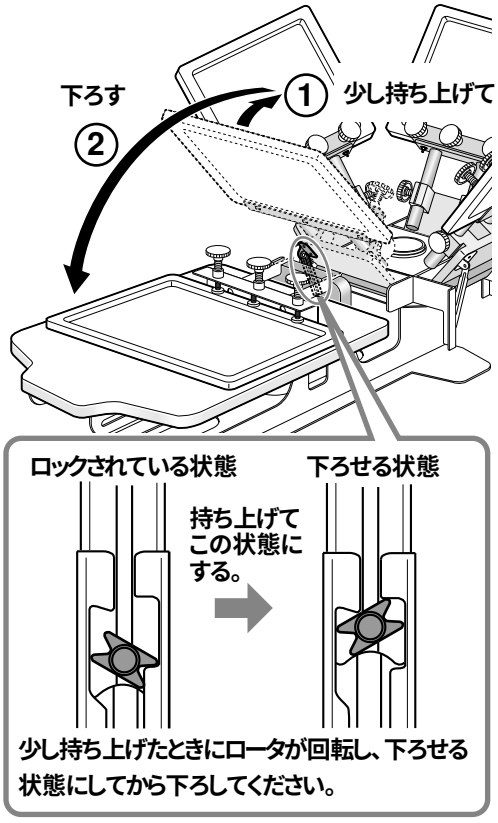




- また、プリント位置を真ん中でなく左右にずらしたいときは、版の取り付け位置を左右にずらしてください。

2 全ての版の位置合わせを行います。

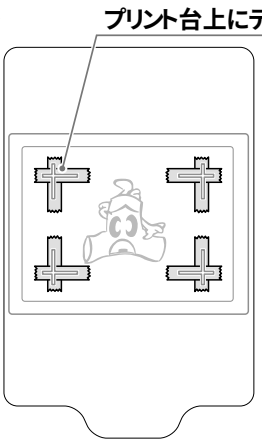
1 1つの版をプリント台上に降ろしてください。
少し持ち上げてから、下げてください。



ポイント
下げるのに硬いときは、ステーのロータを確認しながら、下げてください。

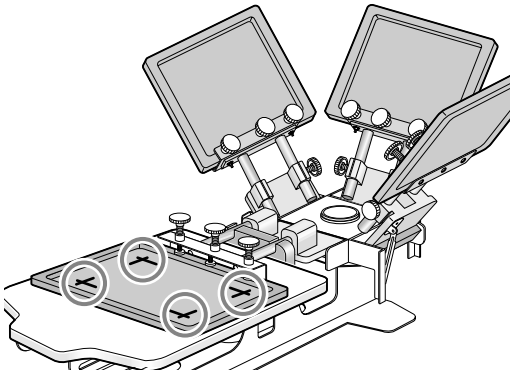
2 版のトンボが来るプリント台上の位置にテープを貼ってください。

- インクをはじかない素材のテープを使用してください。

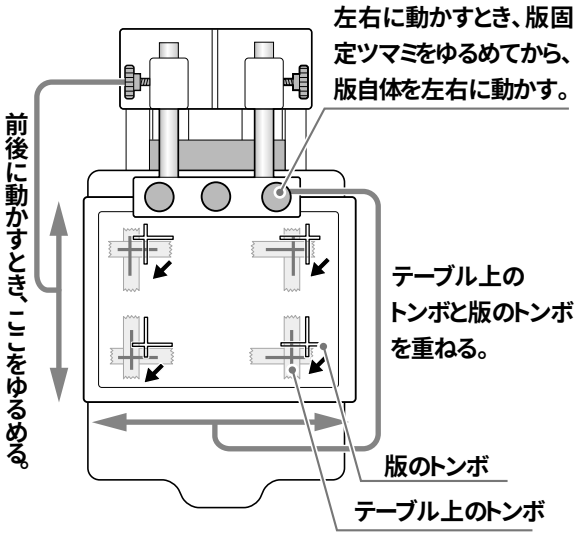


ポイント
次の手順でトンボをプリント台上に印刷しますが、プリント台上にテープを貼るのは、消さなくてもはがせるようにするためです。

3 版のトンボをプリント台上のテープ上に印刷してください。



4 他の全ての版のトンボを、プリント台上に印刷したトンボに、順次合わせてください。
- 前後方向は、前後固定ツマミをゆるめてから、版を前後方向に動かしてください。
- 横方向は、版固定ツマミをゆるめてから、版自体を横に動かしてください。



重要

1度位置を合わせた版は、動かさないようにしてください。動かしたときは、再度位置合わせをしてください。

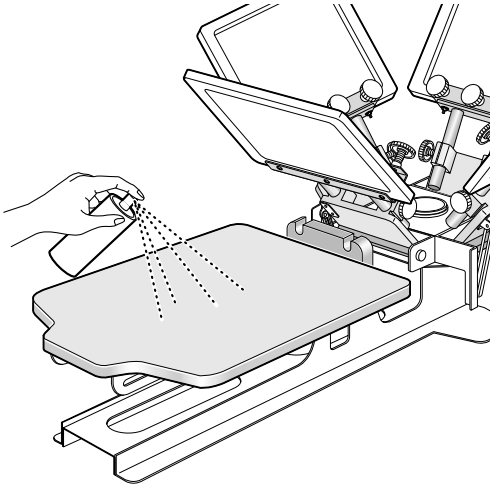
5 全ての版の位置合わせが終了したら、プリント台上のトンボテープをはがすか、ドライヤーで乾かしてください。

重要

これより、版を前後左右に動かすと、それぞれの版の印刷位置が合わなくなります。動かさないようにしてください。

3 プリント台にTシャツをセットします。

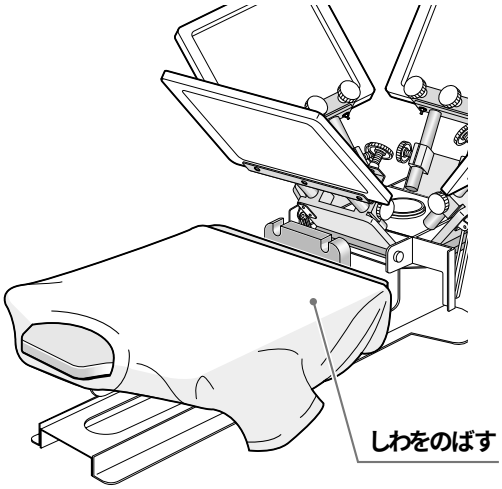
1 プリント台上にスプレーのりを吹き付けてください。



⚠警告

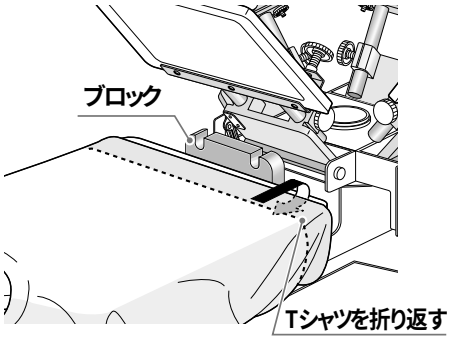
スプレーのりは、換気を充分行いながら使用してください。

2 Tシャツをプリント台に**しわをのばして**セットしてください。



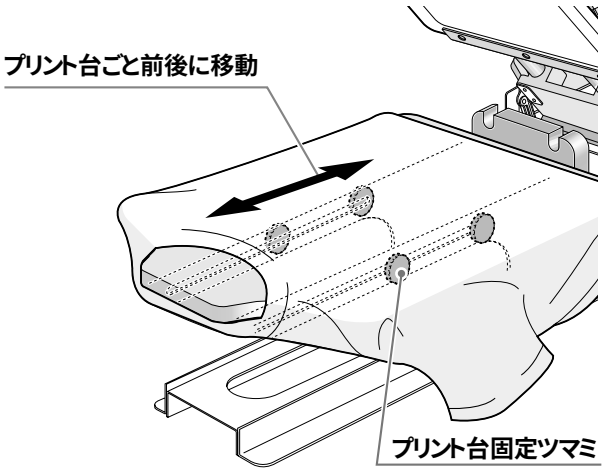
ポイント

Tシャツを、前後引き出しアームを固定するブロックにTシャツを近づけすぎると、オイルで汚れることがあります。プリント台上で折り返して、ブロックに近づけすぎないようにしてください。



4 Tシャツのどの位置に印刷するか決めます。

Tシャツを前後に動かすときは、プリント台固定ツマミをゆるめ、台を前後に動かして固定します。



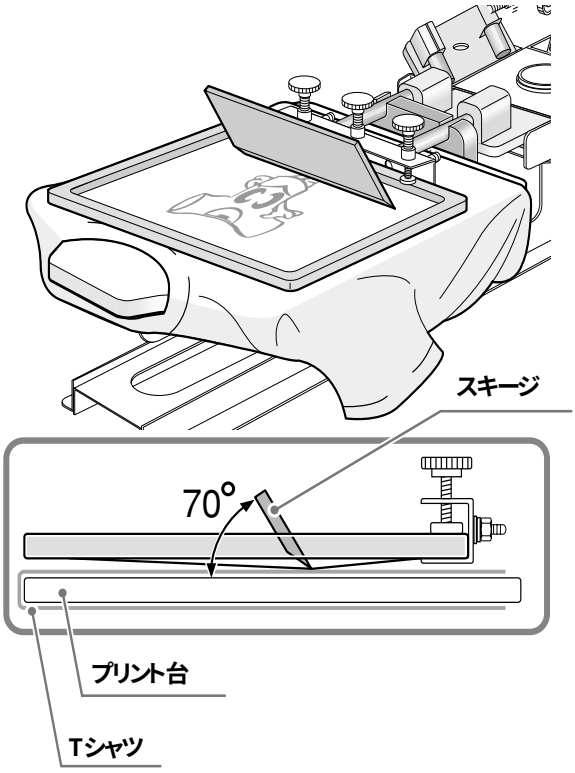
重要

Tシャツを左右に動かさないでください。2枚目を印刷するときに1枚目の印刷位置と比べ、ずれる可能性があります。左右に動かしたいときは、手順 1 でもう一度、版の位置を左右に動かして調整し、以降同じ手順をもう一度行ってください。

5 版の高さを合わせます。

1 版をTシャツの上に下ろしてください。

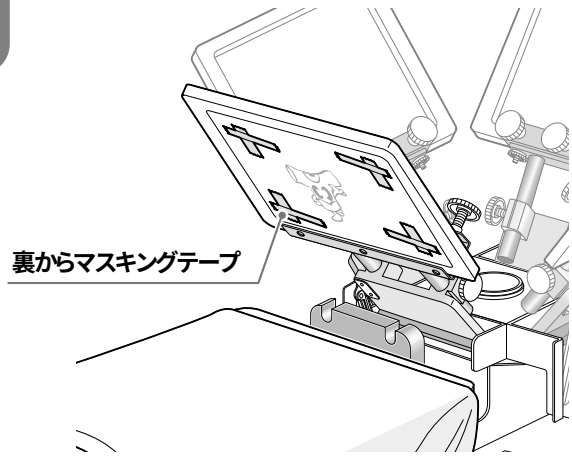
2 スキージを70 程度手前に傾けて、下に押し付けるようにゆっくり手前に引きます。
- この時、版が線でTシャツに触れるように版の高さを調整してください。



印刷をします

いろんなインクがありますが、ここでは、標準付属インクの「マルチチョイスインク」を使った場合について説明します。

1 全ての版のトンボの部分に裏からマスキングテープを貼ります。



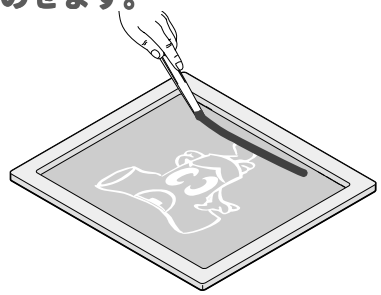
ポイント

Tシャツにトンボが印刷されないようにするためです。

2 版をTシャツの上に降ろします。

- 色が重なる場合、薄い色の版から順に印刷していきます。

3 ヘラでインクを良く混ぜてから、適量を版の上にのせます。

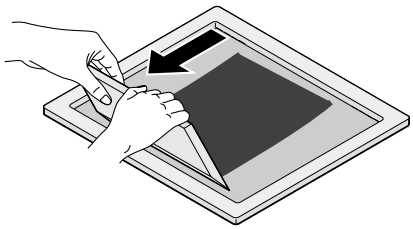


重要

・この印刷方法に水性インクは適しません。水性インクを使用しないでください。

- インクは、図柄の幅より少し広い目にのせてください。
- インクが硬い場合は、マルチチョイスインク専用希釈剤（別売）を混ぜてください。付属のふきとり&うすめ液は、使用しないでください。

4 スキージを70°程度手前に傾けて、下に押し付けるようにゆっくり手前に引きます。



ポイント

・60-120メッシュまで使用可能です。
・混色もできます。

印刷をします

（一度に印刷をする方法：Wet on wet）

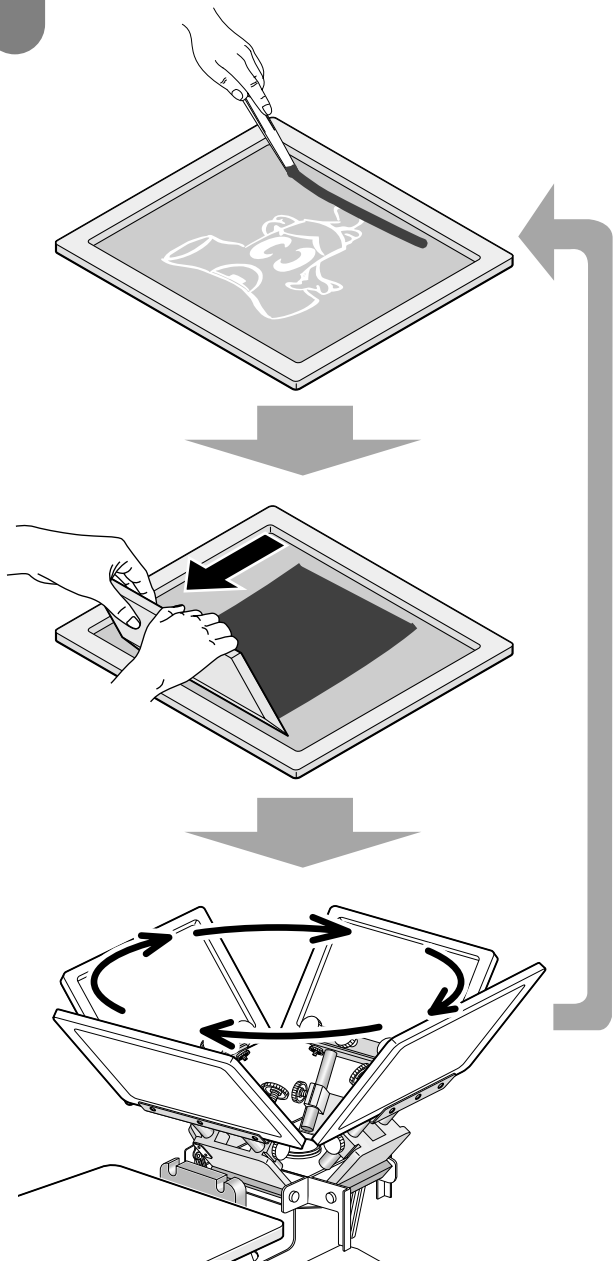
これからＴシャツに印刷をしていきます。

●一度に印刷をする場合→以下の手順に進む。

●１色ごとに仮乾燥する場合→p.20、21に進む。

（一度に印刷をする方法：Wet on wet）

5 １色目印刷できたら、版を持ち上げ、次の版をＴシャツの上に持ってきて、同様に印刷します。



- この手順をくり返して、全ての版を印刷してください。

補足 オプション Pro シリコンスプレーについて

印刷物からの版離れを良くし、スムーズでストレスの無い印刷作業が可能です。
多色印刷時、印刷物のプリント台からの剥がれによる位置ずれを防ぎます。

使い方
1. 使用前に缶を良く振ってください。
2. スクリーン版の裏側に約 30㎝ 程度離して、薄く均一にスプレーします。
3. 清潔な布で一拭きし、余分なシリコンをぬぐいます。
4. シリコンが完全に乾いてから印刷作業を行ってください。

シリコンが乾いていなかったり、たくさん付着した状態で印刷するとインクにたくさんのシリコンが付着し、インクの密着性及び堅牢度の低下を招く恐れがあるので注意してください。

使用上の注意
- 使用時には十分換気してください。
- 長時間の吸気や皮膚、目への接触は避けてください。万一、皮膚に付いた場合は石鹸水で洗い流し、また目に入った場合は清浄な水で 15 分以上よく洗浄してください。
- 幼児の手の届かない所に保管し、いたずらしないように注意してください。
- 火気のある所では使用しないで下さい。
- 有機溶剤が含まれているので、吸引しないようにしてください。

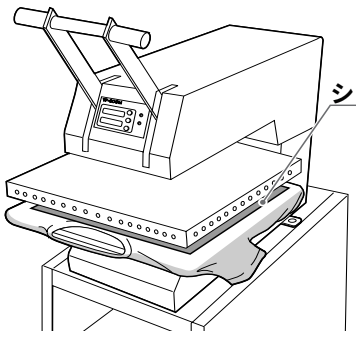
注記

火気と高温に注意

高圧 LPG ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。
1. 炎や火気、高温な場所の近くで使用しないこと。
2. 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
3. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が 40 度以上になる所もは置かないこと。
4. 火の中に入れないこと。
5. 使い切って捨てること。

6 全ての版を印刷した後、T シャツをテーブルからはずし、インクをヒートプレス機で完全に乾燥させます。

プレス圧 0、温度 170°C に設定し、シリコンシート（付属品）を当ててから、1 ヵ所 1 分間くらいプレスしてください。その後、**冷めてから**、シリコンシートをはがしてください。印刷面を指で強く押しても、インクが指につかなくなったら乾燥完了です。テフロンシート（別売）は、シリコンシートと違い何回でも使用できますので、量産に適しています。



注記

T シャツをプレス機に移動させるとき、印刷面に触れないようにしてください。

ポイント

- マルチチョイスインクは、熱をかけて乾燥させないと、何日も乾かない状態が続きます。
- その他のインクは、容器や取扱い説明書に記載されている方法で乾燥を行ってください。

重要

乾燥の温度が低かったり、時間が短いと、洗濯時、色落ちすることがあります。
逆に、乾燥温度が高かったり、時間が長過ぎると、インクがこげることがあります。
適切な温度と時間で乾燥を行ってください。

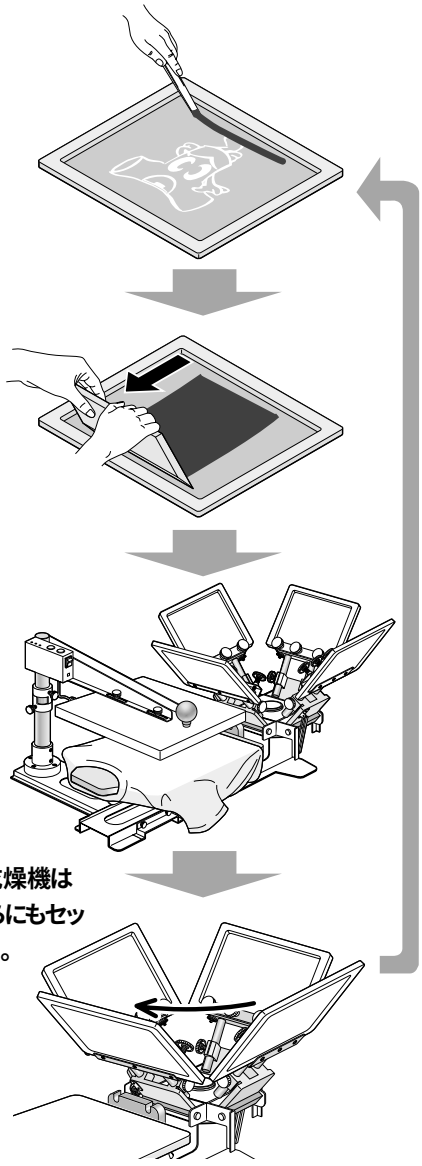
印刷をします

（1色ごとに仮乾燥する方法）

（1色ごとに仮乾燥する方法）

5 1色目印刷できたら、版を持ち上げ、Tシャツをテーブルの上に置いたままスポット乾燥機（別売）を使ってインクを仮乾燥させます。

- インクの種類、厚さ、面積によって乾燥条件が異なります。まずヒーターからTシャツまでの距離を約50mmにして試してください。
- 印刷面を指で軽く触れてインクがつかなければ仮乾燥は完了ですが、十分に印刷面を冷やしてから次の版を印刷してください。



＊スポット乾燥機は左右どちらにもセットできます。

⚠ 警告

スポット乾燥機のヒーターとインクの間を30mm以下に近づけないでください。インクが過熱され、こげる可能性があります。また生地によっては、乾燥中にこげたり、裂けたりする場合があります。

補足

- ジョイント型スポット乾燥機をお使いの場合は、ヒーターからTシャツまでの距離が約50mmとなる位置よりヒーターは下がらないようになっています。
- スポット乾燥機にはヒーターの温度調整機能はありません。ヒーターを上下させて、Tシャツの温度調整を行います。ヒーターからTシャツまでの距離が約50mmのとき、加熱60秒後のTシャツの表面温度は約110～120℃になります。

ポイント

- マルチチョイスインクは、熱をかけて乾燥させないと、何日も乾かない状態が続きます。
- その他のインクは、容器や取扱説明書に記載されている方法で乾燥を行ってください。

補足　オプション　スプレーのり (耐熱用) について

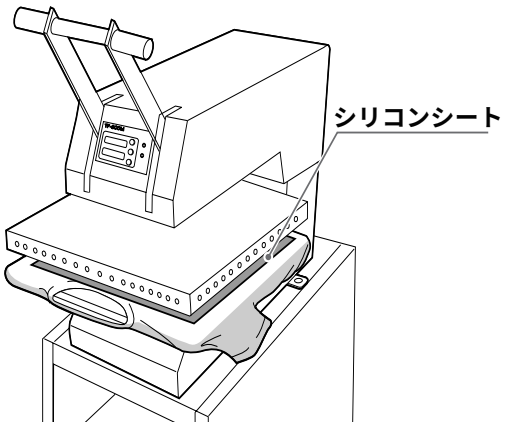
スポット乾燥を繰り返しても、強力な接着力を保持します。
使用後ののりはふきとり＆うすめ液で拭き取れます。

使い方
1. 使用前に缶を良く振ってください。
2. 接着面より約 30㎝ 程度離して、薄く均一にスプレーします。
3. スプレー後、1～2 分以上、時間をおいてから貼りあわせます。

使用上の注意
- ノズルをつまらせない為、使用後はスプレーをさかさまにして 2～3 秒空吹きをしてください。
- 万一、ノズルがつまった時はノズルを取り外し、塗料用シンナー又はアルコールなどにつけて清掃してください。
- 常温で使用してください。(5℃以下での使用を避ける。)
- 換気の良い所で使用してください。
- 服やからだにつけないように注意してください。
- 幼児の手の届かない所に保管し、いたずらしないように注意してください。
- 火気のある所では使用しないで下さい。
- 有機溶剤が含まれているので、吸引しないようにしてください。

6 最後の版を印刷した後、T シャツをテーブルからはずし、インクをヒートプレス機で完全に乾燥させます。

プレス圧0、温度170℃に設定し、シリコンシート（付属品）を当ててから、1ヵ所1分間くらいプレスしてください。その後、**冷めてから**、シリコンシートをはがしてください。印刷面を指で強く押しても、インクが指につかなくなったら乾燥完了です。テフロンシート（別売）は、シリコンシートと違い何回でも使用できますので、量産に適しています。



注記

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため下記の注意を守ること。
1. 炎や火気、高温な場所の近くで使用しな いこと。
2. 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
3. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が 40 度以上になる所もは置かないこと。
4. 火の中に入れないこと。
5. 使い切って捨てること。

注記

T シャツをプレス機に移動させるとき、印刷面に触れないようにしてください。

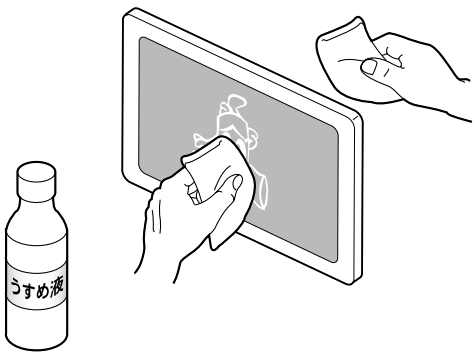
重要

乾燥の温度が低かったり、時間が短いと、洗濯時、色落ちすることがあります。
逆に、乾燥温度が高かったり、時間が長過ぎると、インクがこげることがあります。
適切な温度と時間で乾燥を行ってください。

版を清掃する

（マルチチョイスインクの場合）

印刷後は、付属のふきとり&うすめ液をティッシュにとり、版の両面を拭き取ってください。
また、版を再使用するときは、完全に乾かしてから使用してください。



こんなときは

● Tシャツの上でインクが混じる。

（問題）
互いの版の位置が合っていない

（対策１）
トンボを目印に、全ての版の位置を合わせなおし、全ての固定ツマミを、しっかりと締めてください。（13ページ参照）

（対策２）
版がどうしても合わせられないときは、1色ずつ乾燥させながら、印刷する。（20ページ参照）

● 印刷がずれる。

（問題）
互いの版の位置が合っていない。

（対策）
トンボを目印に、全ての版の位置を合わせなおし、全ての固定ツマミを、しっかりと締めてください。（13ページ参照）

● 図柄がかすれる。

（問題）
版が目づまりしている。

（対策）
付属のふきとり＆うすめ液で、版の両面を拭き取ってください。（22ページ参照）

インフォメーションサービス

本機の使い方や、印刷品質を上げるための方法、修理に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

太陽精機株式会社 ホリゾン事業部
電話　0422(48)5119
FAX　0422(48)5009

各インクの特徴と使い方

インク容器や付属の取扱い説明書に記載されている注意事項や使い方をよく読んでからご使用ください。またインクは必ずよく混ぜてからお使いください。ここでは一般的に使われているインクの特徴と簡単な使い方を記載しています。

●マルチチョイスインク（油性）『標準インク・多色印刷用』

用途:綿・綿混紡
対応スクリーン:60M・80M・120M
布専用の油性インクです。油性インクですので、水性一般インクより目づまりしにくいインクです。完全乾燥には必ず熱処理（ヒートプレス機又はヒートプレートを使用）を行ってください。自然乾燥では、乾きません。
※インクが硬いときはマルチチョイスインク専用希釈剤を混ぜてください。（ふきとり&うすめ液は混ぜないでください。）
※吸汗処理を施されているTシャツ等には使用できません。

補足（水性インク各種：多色印刷には適しません）

●一般インク、蛍光インク
用途：T シャツ、ハンカチ等の綿製品及び紙、白木等、水をはじく物にはできません。
対応スクリーン：60M・80M・120M
少ロット印刷プリントには最適のインクです。濃色地への印刷時は、白色で印刷して乾燥させた後、お好みの色で印刷するとより鮮やかな発色になります。
※インクが硬いときは、水性バインダーを混ぜてください。
※金・銀インクは、60M 又は 80M のスクリーンを使ってください。

●発泡インク
用途：T シャツ、ハンカチ等綿製品。
対応スクリーン：60M・80M・120M（より発泡させたいときは、粗いメッシュ 80M をお使いください。）
手につかなくなるまで自然放置（30 ～ 60 分）またはドライヤでよく乾燥させたのち、印刷した部分の裏からスチームアイロンをかけます。インクがぷくぷくと盛り上がり、遊び心いっぱいのプリントが楽しめます。
※よく混ぜてからお使いください。

●ポリウレタンインク
用途：綿・ポリエステル・ナイロン・ポリウレタン
対応スクリーン：60M・80M・120M
ポリウレタン樹脂インクは伸縮性に富み、ナイロン 100%・ポリウレタン 100%素材にもプリントできます。（はっ水加工素材にはプリントできません。）
一般水性インクより柔らかな色目で、パステル調のプリントが楽しめます。
※目づまり除去液は使えません。もし、目づまりしたときは版の作り直しが必要です。
※インクが硬いときはポリウレタンインク専用バインダーを混ぜてください。

●ナイロンウエア用インク（油性）

用途:ナイロンサテン・ナイロンタフタ
対応スクリーン:60M・80M・120M・230M
※必ずナイロンインク専用硬化剤を混ぜてください。
※インクが硬いときはナイロンインク用溶液を混ぜてください。

●一般油性インク（油性）

用途:紙・木・金属塗面・ガラス・アクリル・エンビ・ABS
対応スクリーン:120M・230M
プリント面の完全乾燥には約 24 時間かかります。
※インクが硬いときはふきとり&うすめ液を混ぜてください。

仕様

プリント台面積	400 mm x 450 (540) mm
外寸	465 mm x 780 (900) mm x 300 (480)mm
重量	32.5 kg
プリント台移動	120 mm
クランプ移動	100 mm
昇降角度	35℃
微調整	前後

オプション品の使い方

製品ごとの取扱説明書、注意事項をよく読んでからご使用ください。

●修正液（一般用 / ナイロンインク用）

スクリーンのキズ(不要に空いてしまったピンホールなど)を埋めるとき使います。
スクリーンの裏側(インクのつかない面)より、修正個所に均一に塗り、完全に乾燥させてから、プリントします。
※ナイロンインク使用の場合、ナイロンインク専用修正液をお使いください。

●目づまり除去液

スクリーン上に目づまりした**水性インク**を取り除くとき使います。
目づまり部分にスプレーして、インクを溶かします。除去液を拭き取り、完全に乾燥させてから、プリントします。多数回使用すると、スクリーンが傷みますのでご注意ください。
※油性インクや水性ポリウレタンインクには使えません。

●スクリーン補強剤

多枚数のプリントの場合、スクリーンの強度をあらかじめ高めたいときに使います。
製版後、プリントする前に、スクリーンの裏側(インクのつかない面)に全面スプレーします。スプレー後すぐに、スクリーンの表側(絵柄部分)の補強剤を拭き取り、完全に乾燥させてから、プリントします。

●マスキングテープ

1版での多色印刷、多色印刷時の位置合わせ時等に使います。
テープを数枚重ねることもできます。

●ふきとり＆うすめ液

一般油性インクの拭き取りとうすめ用に使います。
スキージ等にこびりついた水性インク及びマルチチョイスインクの拭きとり用としても使えます。

●ナイロンインク用溶液

ナイロンインク専用の拭き取りとうすめ用に使います。
ナイロンインクが硬いときは粘度調整用としてインクに混ぜてください。

●ナイロンインク専用硬化剤

ナイロンインク使用時には必ずお使いください。(硬化剤なしではインクは固まりません。)
インク量の5～10%の硬化剤を混ぜてからプリントします。

●マルチチョイスインク専用希釈剤（うすめ液）

マルチインクが硬いときは、粘度調整用としてインク量の1～5%を混ぜてください。

●シリコンシート

マルチインクを乾燥(熱処理)させる時に使用します。

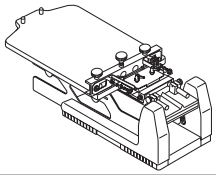
●ミドルスクリーン●ワイドスクリーン●各フレーム・マット

小さい原稿の場合は、サイズに応じたスクリーンを使うと便利です。

●スキージ（大）

版の図柄が小さいときに使用します。

オプションとTシャツくんProの関連商品

商品名	商品内容
Proスクリーン製版機	付属品:マット,Proフレーム,試し用Proスクリーン3枚,ハケ,修正液,原稿用紙2種,スプレーのり(大)
Proスクリーン印刷機 	付属品:試し用マルチインク100g6色,シリコン紙,ふきとり＆うすめ液,ヘラ, 業務用スキージ38cm,Proパネル5枚,スプレーのり(大)
Proスポット乾燥機	インクの仮乾燥用のヒーター （ジョイント式、スタンド式の2種）
Proスクリーンテンショナー	付属品:アルミフレーム３,ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地80メッシュ,Proボンド, Proヘラ＆ハケ,Pro溶剤,Proテープ
Proスクリーン　5枚入	Proフレーム用スクリーン（サイズ53x53cm）60,80,120,230メッシュ
Proスクリーン　25枚入	Proフレーム用スクリーン（サイズ53x53cm）60,80,120,230メッシュ
原稿用紙A3ｺﾋﾟｰ紙　30枚	専用のコピー原稿用紙
原稿用紙A3ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ紙　30枚	専用のｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ原稿用紙
Proパネル　1枚	ヒートプレスにも対応できる木製パネル（サイズ40x45(53）cm）
Proフレーム　45x45cm	簡単にスクリーンが張れるワンタッチフレーム（外寸45x45cm、 内寸40x40cm）8個ねじ付き
Proアルミフレーム　45x53cm	アルミフレーム（外寸約45x約53cm、内寸約40x48cm）
Proアルミフレームﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地付	アルミフレーム（外寸約45x約53cm、内寸約40x48cm）に感光液のついてない ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ80Mまたは120M付（価格同じ）
Pro感光液　1kg	感光液がついてないﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地に感光液を塗るための液（約15版分）
Proリムーバー　2kg	感光液がついたﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地の感光液を落とす液（約30版分） ＊Tシャツくんスクリーンの感光液は落せない
Proバケット大　39cm	感光液をﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地に塗るときの道具（大）
Proバケット小　3cm	感光液をﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地に塗った後、不要液をすくい取る道具。バケット大と併用すると便利
Proアルミフレーム用マット	製版時の密着用マット
Proフレームマット	製版時の密着用マット
Proﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地M　65cmx5m	感光液がついてないﾎﾟﾘｴｽﾃﾙの生地80Mまたは120M（価格同じ） 必要サイズ65x70cm（7枚分）
Proボンド　1kg	アルミフレームにﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地を貼るときのボンド。Pro溶剤と1：1で混ぜる （その場合約60版分）
Pro溶剤　1.5kg	Proボンドと併用。アルミフレームやヘラ＆ハケに付いたボンドをはがすときに使用
Proテープ	アルミフレームにﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ生地を貼るときに使用
Proヘラ&ハケ	アルミフレームにつけたボンドを伸ばすためのヘラとハケのセット
UVカット２０ｗライト	UVをカットしたランプ（感光液を塗る際に必要）
スプレーのり（大）　430ml	原稿用紙やProパネルに使用
スプレーのり（耐熱用）	スポット乾燥を繰り返しても、接着力を保持できる
Proシリコンスプレー	印刷時の版離れを良くするときに使用
業務用スキージ	印刷時に使用（樹脂製、木製取っ手付）　36、38、46cm
ウレタンスキージ9mm厚　36cm	安定感のある9mm厚のスキージ、印刷時に使用（ウレタン製、木製取っ手付）
ウレタンスキージ9mm厚　38cm	安定感のある9mm厚のスキージ、印刷時に使用（ウレタン製、木製取っ手付）
ウレタンスキージ9mm厚　46cm	安定感のある9mm厚のスキージ、印刷時に使用（ウレタン製、木製取っ手付）
ヘラ（ステンレス大）	インクを攪拌して柔らかくするときとインクを取り出すときに使用
マルチインク1kg一般色	布用油性インク一般色（熱処理が必要、常温では乾かない）
希釈剤　50cc	マルチインクが硬すぎるときに混入
ふきとり＆うすめ液　200ml	スクリーン版についているマルチインクを落とすときに使用
テフロンシート　40x50cm	インクを乾かすとき（熱処理）などに使用

＊感光液は紫外線に弱い性質ですので完全にUVの入らない部屋にて作業が必要です。